

平成28年7月14日に埼玉県新座市から朝霞市にかけて発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

7月14日 14時30分頃、埼玉県新座市中野（なかの）から朝霞市膝折町（ひざおりちょう）にかけて突風が発生し、住家の軽微な被害、非住家の屋根のトタンのめくれなどの被害がありました。

このため7月15日、熊谷地方气象台と東京管区气象台は、突風をもたらした現象を明らかにするため職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、ダウンバーストまたはガストフロントの可能性はあるものの特定に至らなかった。

(根拠)

- ・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・漏斗雲または移動する渦の目撃など、竜巻の発生を示唆する情報は得られなかった。
- ・突風は強雨またはひょうを伴っていたという証言が得られた。

(特定に至らなかった理由)

- ・被害や痕跡から、被害をもたらした現象を推定できる情報が得られなかった。
- ・聞き取り調査から、被害をもたらした現象を推定できる情報が得られなかった。

(2) 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約30m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF0に該当する。

(根拠)

- ・住家の軽微な被害

- ・非住家の屋根のトタンのめくれ
- ・樹木の枝折れ
- ・樹木の幹折れ

* この資料は速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

本件の問い合わせ先
熊谷地方気象台
電話：048-521-5858